

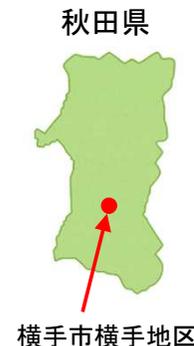
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 稲作が中心の平地農業地域。
- ほ場の大区画化で農地の集積が一定程度進んだものの、高齢化や後継者不足などにより担い手が減少し、認定農業者、新規就農者、農業法人などの多様な経営体の育成・確保が課題。

【支援内容・背景】

- 担い手の経営面積の拡大と離農や規模縮小による農地の引受けに対応すべく、作業の効率化、省力化の取組を支援する必要。
- 助成対象者は水稲と大豆の大規模経営を営む法人であり、さらなる経営面積の拡大に取り組む。
このため、地区における大規模水稲・大豆等経営による経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「(農)ファームング八丁」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成19年 集落営農組合設立
- 平成22年 法人化、農業経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 水稲・大豆の経営面積の拡大を図るためには、作業の効率化・省力化が必要。水稲・大豆の耕起、収穫等作業の効率化・省力化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 38百万円
○経営面積 42ha
(水稲、飼料用米、大豆)

《事業による整備内容》

- トラクター、ハロー
事業費 8,860千円
(国費 2,415千円)
- あぜ塗機
事業費 1,150千円
(国費 313千円)
- 大豆選別機、計量機
事業費 1,750千円
(国費 477千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高 29百万円 (76%)
○経営面積 52ha (124%)
(水稲、飼料用米、大豆)

事業の
効果

《対象者》 水稲・大豆の効率的な作業体系の確立により、経営面積の増加が実現。

《地区》 水稲・大豆の生産体制の強化が図られることにより、地域農業を牽引する水稲・大豆の大規模経営モデルが確立。